

第1回 校長会議あいさつ

R7.4.2 稲垣

やわらかな日差しに花々をゆらす風。心浮き立つ季節を迎えました。入学式も桜に祝福されそうです。学校では、新たなメンバーを迎えて、新学期への期待感に満ちていることと思います。子どもたちのために全教職員が一丸となって、気持ち良く教育活動に邁進できるようにご配慮ください。

本日は、年度当初にあたり、学校経営についてお話します。いい学校をつくるためには、教職員が前向きに仕事のできる環境が不可欠です。そのための要素を列挙してみます。

○笑顔の職員室は、先生方の安心感と向上心を醸成します。

校長をはじめ、リーダーに支えられている安堵感を浸透させましょう。不安を翌日に持ち越させないように、困っていたら必ず助けてください。誰一人も孤立させないように、職員間の絆を強めましょう。湯沸し室のほっとスペースの配慮も大切です。教頭はじめ役職者と力と心を合わせて、工夫してください。

○校長が夢を語り、教育目標を共通理解することが教職員集団の一体感を生みます。

「子どもたちに、このような心や力を育てたい。だから、こういう指導を大切にしていきたい」と語りましょう。行事も式典も現職教育も、全てはそのための手立ての一つです。

○職員間の適切な相互評価を育むことが、学校力を向上させます。

頑張りたい人が頑張れるように、また頑張った人が正当に評価されるように。心意気や明るさも能力のうちですし、目立たぬところで頑張っている人を見逃さないようにしたいものです。

○叱り忘れはあっても、褒め忘れは避けたいものです。

叱ることは後で指導できますが、褒めてモチベーションを向上させることはタイミングが大事です。年齢や職責に気を配りながらも、皆が立場で気持ちよく動けるようにしましょう。

以上ですが、言うは易し行うは難しでもあります。校長先生方がそれぞれの経営ビジョンとキャラクターをもって努力していただければと思います。

私は、3月21日の教育長再任の挨拶の中で、「教育大綱の実現に向けて」思いを述べました。その内容については、教育委員会のホームページに公開しておりますが、本日、改めて配布しました。その趣旨を的確にご理解いただき、学校経営に生かしていただきたいと思います。また、楽しくて力のつく授業づくりのマニュアルである「西尾スタイル」については、全ての教員に周知をお願いします。とりわけ、友達の発言に対する聞き方は、重要です。話し合い活動の基盤としては言うまでもなく、子ども同士の健全な人間関係を築くためにも、全クラスにおいて徹底させてください。詳細については、「教育大綱の実現に向けて」に述べてありますので、校長先生自ら全教職員に説明し、共通理解を図るようお願いします。

教育改革のうねりの中で、幾つもの課題を抱えている学校現場です。一方で、働き方改革にも取り組まねばなりません。学校教育の信頼感を維持するためには、働き方改革も学校教育を改善するための方途の一つとして捉えて進めるべきです。目標と手立てを混同しないようにご配慮ください。バランスの難しい学校経営が求められます。教育委員会といたしましても、全力で学校を支えていきますので、どうか頼りにしていただきたいと思います。

間もなく登校してくる子どもたちをよく見てあげて、どの子にとっても楽しく、わくわくするような学校生活になるように、全職員による心遣いをくれぐれもお願いいたします。校長先生方のご健闘により、本市の全ての子どもたち、保護者、地域の皆さん、教職員の笑顔が溢れることをお願いして、年度冒頭の言葉といたします。